

## 1 インストールする

「サポートソフトCD-ROM」内のドライバーソフトと「デバイスアンプラグユーティリティ」をインストールします。

まだ本製品をパソコンに取り付けないでください。

- 1 本製品を取り付けていない状態でパソコンの電源を入れます。  
※「コンピューターの管理者」のアカウントでログオンしてください。
- 2 サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- 3 表示されたCDメニューの「ドライバー」ボタンをクリックします。

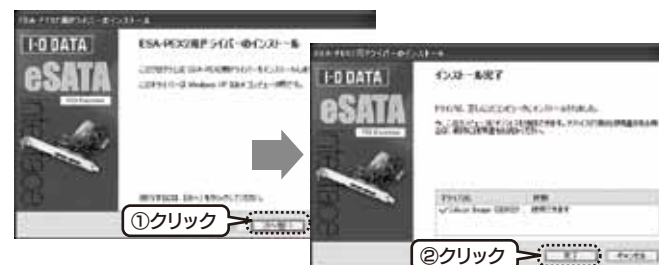


CDメニューが表示されない場合

1. コンピューター(マイコンピュータ)]を開きます。
2. サポートソフトが収録されているCD-ROMドライブアイコンをダブルクリックします。
3. [menu.exe]をダブルクリックします  
→ CDメニューが表示されます

Windows 7/Vistaをお使いで、「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]([続行])ボタンを押して進めてください。

- 4 後は手順に[次へ]、[完了]をクリックします。



以上でドライバーソフトのインストールは終了です。  
次に「デバイスアンプラグユーティリティ」をインストールします。

本製品のセットアップ作業を説明しています。  
手順にしたがって作業を行ってください。

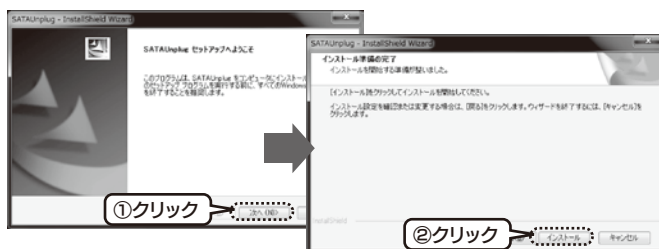
## デバイスアンプラグユーティリティのインストール

デバイスアンプラグユーティリティ(SATAUnplug: サタアンプラグ)をインストールします。  
本製品に接続したeSATA機器を取り外す際に使用します。

- 5 表示されたCDメニュー画面の[SATAUnplug]ボタンをクリックします。



- 6 後は順に[次へ]、[インストール]をクリックします。



- 7 [完了]ボタンをクリックします。

以上で「デバイスアンプラグユーティリティ」のインストールは終了です。

次に「デバイス管理サービス」をインストールします。

## デバイス管理サービスのインストール

デバイス管理サービスをインストールします。

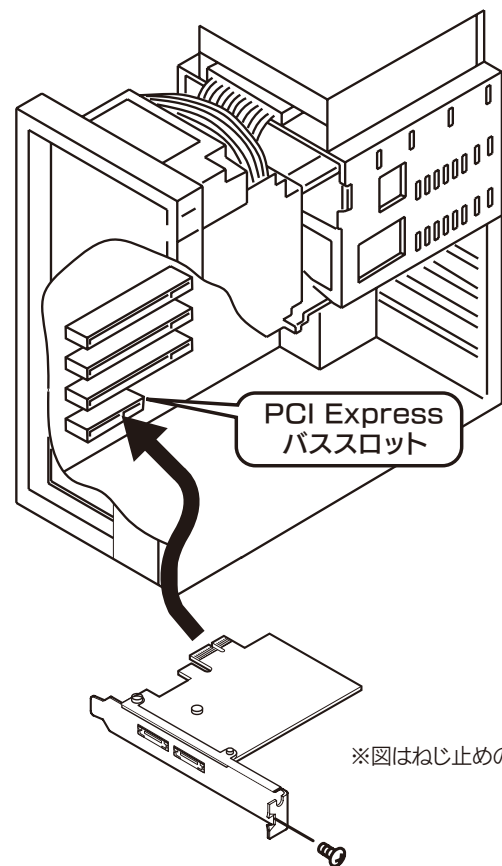
- 8 右記、【デバイス管理サービスのインストール手順】を参照して、デバイス管理サービスをインストールします。

以上でドライバーソフト、「デバイスアンプラグユーティリティ」(SATAUnplug)、「デバイス管理サービス」のインストールは終了です。  
「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

## 2 取り付ける

本製品をパソコンに取り付けます。  
※取り付け前に、本製品のシリアル番号(S/N)をメモしてください。  
別紙【はじめにお読みください】[箱の中には]を参照。

- 1 パソコンの電源スイッチを切ります。
- 2 パソコンに接続されているケーブルをすべて取り外します。
- 3 パソコンのカバーを取り外します。  
※パソコンのカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 4 パソコンのPCI Expressバススロットのカバーを取り外します。  
※PCI Express/バススロットカバーの取り外し方については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 5 本製品をPCI Expressバススロットに取り付けます。  
①本製品をPCI Express/バススロットに取り付けます。  
②本製品をしっかりと固定します。  
※固定方法はお使いのパソコンの取扱説明書をご確認ください。



- 6 パソコンのカバーを取り付けます。
- 7 取り外したケーブルをすべて接続します。

以上で取り付けは終了です。

## 3 確認する

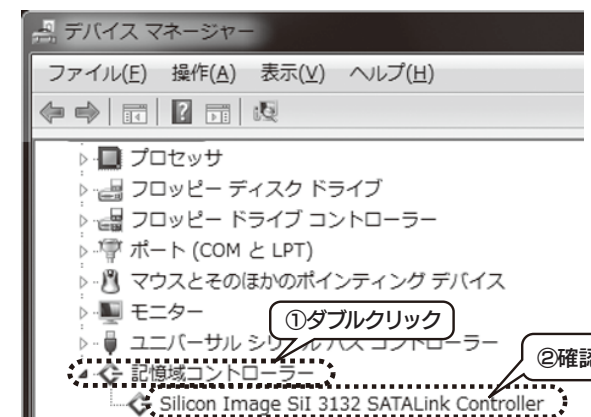
本製品がパソコンに正しく認識されたかを確認します。

- 1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。  
※「管理者(Administrators グループ)」のアカウントでログオンしてください。
- 2 [スタート]-[コンピューター(マイコンピュータ)]を右クリックして、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
- 3 左側のタスクメニューから[デバイスマネージャー]をクリックします。  
※Windows XPの場合は、[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
- 4 [記憶域コントローラー]をダブルクリックして、以下が表示されていることを確認します。

Silicon Image Sil 3132 SATALink Controller

※Windows XPをお使いの場合は、[SCSIとRAIDコントローラ]をダブルクリックしてご確認ください。

表示されていれば本製品は使用できます。



- 確認したドライバーの頭に「！」や「×」マークがあるときは

原因1 ドライバーが正しくインストールされていません。

- 対処1
- ① デバイスマネージャ画面で「Silicon Image Sil 3132 SATALink Controller」を右クリックし、[削除]をクリックします。
  - ② 本製品を取り外します。
  - ③ 再度、左記【取り付ける】の手順からの作業を行ってください。

- 対処2
- ① 本製品を取り外します。
  - ② ドライバーを削除します。  
裏面【困った時には】の【ドライバーを削除する場合】をご確認ください。
  - ③ 再度【インストール】からの作業を行ってください。

原因2 リソースがうまく割り当てられていません。

- 対処
- パソコンを再起動してください。

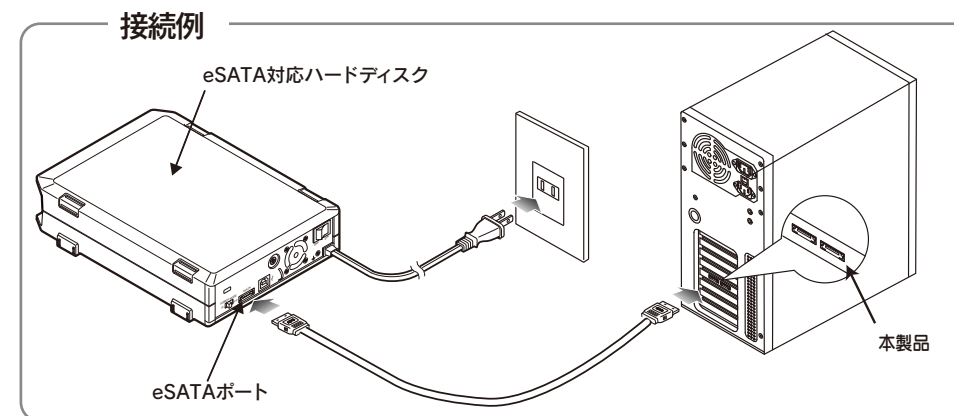
## 4 eSATA対応ハードディスクを接続する

機器を接続する前に

本製品は、WindowsのACPI機能には対応しておりません。従って、本製品を取り付けた状態では以下の点にご注意ください。(詳細は別紙【①はじめにお読みください】の【スタンバイ機能を無効に設定する】参照)

- スタンバイ機能は無効に設定してください。
- Windows終了時の[スタンバイ]は実行しないでください。

- 機器を取り外す場合→[デバイスアンプラグユーティリティ]  
機器を取り外す場合は、[1 インストールする]でインストールした「デバイスアンプラグユーティリティ」で行います。(詳細は、裏面【本製品からeSATA対応ハードディスクを取り外す場合】を参照してください。)



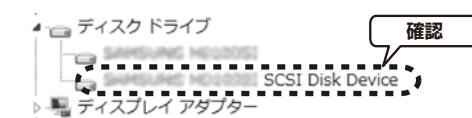
## eSATA対応ハードディスクの接続を確認する

eSATA対応ハードディスクの接続は、Windows上で確認することができます。

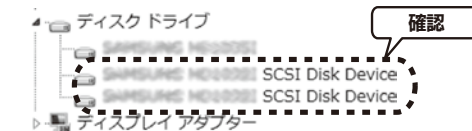
- 1 [スタート]→[コンピューター(マイコンピュータ)]を右クリックして表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。
- 2 左側のタスクメニューから[デバイスマネージャー]をクリックします。  
※Windows XPの場合は、[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
- 3 [ディスクドライブ]をダブルクリックし、以下が表示されていることを確認します。  
[xxxxxxx xxxxxxxx SCSI Disk Device]  
※ xxxxxxxx xxxxxxxxにはメーカー名や型番が表示されます。

上記が表示されていればeSATA対応ハードディスクは正しく接続されています。

## ▼1台のみ接続した例



## ▼2台接続した例



## 「デバイス管理サービス」のインストール手順

「デバイス管理サービス」は、管理者権限以外の制限ユーザーの場合でも本製品に接続した機器を取り外しできるようにするユーティリティです。インストールするだけで有効になります。

- 1 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- 2 表示されたCDメニューの[デバイス管理サービス]ボタンをクリックします。

すでに「デバイス管理サービス」がインストールされている場合は、以下の画面が表示されます。インストールの必要はありません。  
[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。



- 3 後は順に[次へ]をクリックします。



- 4 [完了]ボタンをクリックします。

以上で「デバイス管理サービス」のインストールは終了です。  
「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。



## 困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合をご覧ください。

### 弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

<http://www.iodata.jp/support/>

- 本製品取り付け後、パソコンが起動しない
- 本製品が動作しない
- [デバイスマネージャ]で“!”マークがついている

**対処** 本製品が正しく取り付けられているかご確認ください。パソコンの電源を切り、再度本製品に接続したハードディスクのeSATAケーブルや電源ケーブルが取り付けられているか、外れていないかを確認してください。

**対処** 本製品に割り当て可能なIRQなどのリソースが不足していないかご確認ください。(右の[参考]参照)

**対処** プラグ&プレイに対応していないボードがある場合には、そのボードのリソース割り当てを変更してください。(リソースの変更方法に関しては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。)リソース割り当ての変更ができない場合には、そのボードを取り外し、本製品と必要に応じて使い分けてください。

**対処** 他の周辺機器を拡張スロットに増設した場合は、増設した周辺機器と割り込みやI/Oポートアドレスなどが重複している可能性があります。増設した周辺機器の取扱説明書を参照して、設定を確認してください。

### ●本製品を使用中に動作が不安定になる

**対処** 本製品を接続しているPCIバススロットの位置を変えてみてください。

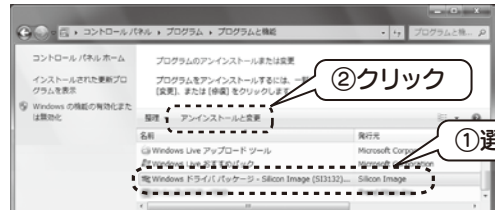
### ドライバーを削除する場合

① [スタート] (→[設定])→[コントロールパネル]を開き、[プログラムのアンインストール] ([プログラムの追加と削除] または[アプリケーションの追加と削除])を開きます。

② 一覧から削除するソフトウェアを選択後、[アンインストールと変更] ([アンインストール]または[変更と削除])をクリックします。

※[Windows ドライバ パッケージ - Silicon Image (SII3132) SCSIAdapter]を選択

(Windows 7の画面例)



後は画面の指示に従ってください。  
以上で、ドライバーのサポートソフトの削除は終了です。

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

### 参考: 割り込みの空きを作る

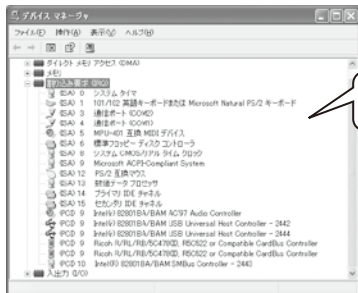
本製品が正常に動作しない場合は、割り込みIRQの空き(以下の【割り込み(IRQ)の空きについて】参照)が無いことが原因の1つとして考えられます。

### ●割り込み(IRQ)の空きについて

本製品はパソコン本体の割り込み(IRQ)を使用します。ただし、本製品はプラグアンドプレイ対応ボードで、パソコン本体側ですべて自動的にリソース(IRQ等)が割り振られるため、本製品側でIRQの指定ができません。よってIRQの空きの確認(パソコン本体側のリソース(IRQ等)の割り振りが正常か)など確認が必要となります。

### 割り込み(IRQ)の空きの確認方法

- ① Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
- ② 本製品をPCIバススロットから取り外します。
- ③ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動後、[デバイスマネージャ]画面を開きます。  
([デバイスマネージャ]画面の開き方については、表面【確認する】参照)
- ④ [表示]メニューから[リソース(種類別)]をクリックします。
- ⑤ [割り込み要求(IRQ)]をダブルクリックして、割り込み(IRQ)の使用状況を確認します。



IRQ2,7,11は  
使用されていない

⑥ 空きがない場合は、他の機能を外すなどをして空きを作ってください。  
詳細はパソコンメーカーにご確認ください。

⑦ 再起動して本製品、IDE機器を接続している場合は、IDE機器が正常に動作するかご確認ください。

パソコン本体(マザーボード)のBIOSセットアップメニューで設定できる場合もあります。詳細は各パソコンメーカーにご確認ください。  
また、実装しているボードの取扱説明書も参照してください。

## 本製品からeSATA対応ハードディスクを取り外す場合

Windows使用中に以下の手順を行って、本製品に接続したeSATA対応ハードディスクを取り外すことができます。

① タスクトレイの [ ] をクリックし、  
「SATAUnplug」アイコン [ ] を  
クリックします。



② 表示された [xxxxxx xxxxx SCSI Disk Device -  
ドライブ (x:)] を安全に取り外します」をクリックします。



③ 以下の画面を確認後、本製品から機器のケーブルを取り外します。



●取り外し時は、コンピュータの管理者権限のユーザーでログオンしてご利用ください。  
制限ユーザーで取り外したい場合は、[デバイス管理サービス]をインストールしてご利用ください。(以下の【デバイス管理サービス】のインストール手順参照)

●本製品に接続した弊社eSATA対応ハードディスクにOSをインストールし、そこから起動した場合、そのドライブをSATAUnplugを使用して取り外すことはできません。  
(グレー表示となります。)

●[SATAUnplug]では、本製品に接続した以外のドライブ(内蔵SATAハードディスクなど)もメニューに表示される場合があります。誤って内蔵SATAドライブを取り外さないようご注意ください。  
もし誤って内蔵SATAドライブを取り外してしまった場合は、パソコンを再起動してください。

●本製品に同時に2台のeSATA対応ハードディスク接続時は、左記手順でケーブルを取り外した後、2台目の取り外し手順を行ってください。

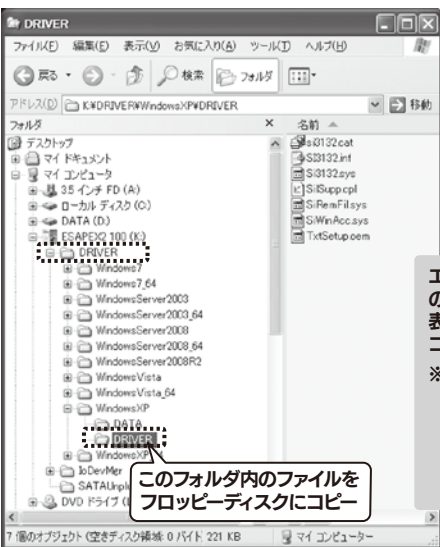
## 接続したハードディスクにOSをインストールする

本製品に接続したeSATA対応ハードディスクにOSのインストールおよび本製品ドライバのインストールを行う方法を説明します。

- ご使用のパソコン本体によりOSの再インストール方法は異なります。ハードディスクへのOSの再インストールなどに関する「お問い合わせ」「保証」「サポート」は、弊社およびパソコン本体メーカーでは致しかねます。ご了承ください。
- 増設用のeSATA対応ハードディスクを起動用としてご使用になる場合は、環境の移行が完全に終了するまで、必ず元の環境を残してください。
- OSをインストールする場合は、パソコンに以下の機器を接続してください。  
[Windows 7/Vistaの場合]  
・DVD-ROMドライブ  
[Windows XPの場合]  
・フロッピーディスクドライブ  
・パソコン本体に接続されたCD-ROMドライブ(OSのCD-ROM読み取り用)
- 起動用として設定後、インストールしたサポートソフトを削除すると、本製品が使用できなくなり、さらに、接続しているハードディスクもすべて使用できなくなります。(OSも起動できなくなります。)  
サポートソフト削除前に、必ず必要なデータはバックアップしてください。

### ■インストール時に必要なもの

- WindowsシステムCD-ROM
- Windows XPのインストール時のみ  
[DRIVER]フォルダ下の[WindowsXP]フォルダ内にある[DRIVER]フォルダ内のすべてのファイルをコピーしたフロッピーディスク(1枚: 1.44MB)



エクスプローラで[すべての  
ファイルとフォルダを  
表示する]を設定してから  
コピーしてください。  
※エクスプローラの  
[ツール]メニュー→  
[フォルダオプション]→  
[表示]メニュー内の  
[ファイルとフォルダの  
表示]で設定できます。

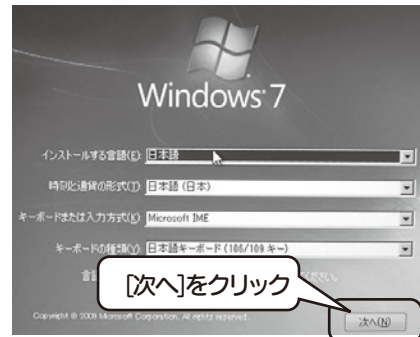
このフォルダ内のファイルを  
フロッピーディスクにコピー

### Windows 7/Vistaのインストール

以下の手順はWindows 7の例ですが、Windows Vistaも同様に行うことができます。

- ① 本製品にハードディスクを接続後、パソコンを起動します。
- ② WindowsシステムDVD-ROMをDVD-ROMドライブに入れ、Windows 7/Vistaのインストールを開始します。  
※方法については、Windowsの取扱説明書を参照してください。

③ [次へ]をクリックします。



④ [今すぐインストール]をクリックします。  
以降は画面にしたがってインストールをすすめてください。



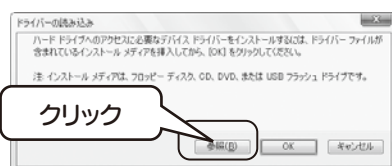
⑤ [新規インストール]をクリックします。



⑥ [ドライバーの読み込み]をクリックします。



⑦ 右画面が表示されたらサポートソフトCD-ROMと差し替えて、[参照]をクリックします。



⑧ 「フォルダーの参照」が表示されますので、  
[DRIVER]→  
[Windowsの名称\*]→  
[DRIVER]を選択し、  
[OK]をクリックします。  
※Windows7\_64  
Windows7  
WindowsVista\_64  
WindowsVista



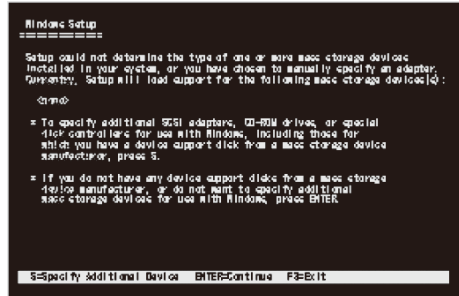
ドライバーの読み込みが開始され、接続されたeSATA対応ハードディスクが表示されますので、CD-ROMをWindowsのインストールディスクに戻し、後は画面の指示に従って進めてください。

### Windows XPのインストール

- ① 本製品にeSATA対応ハードディスクを接続後、パソコンを起動します。
- ② WindowsシステムCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、Windows XPのインストールを開始します。  
※方法については、Windowsの取扱説明書を参照してください。
- ③ 以下の画面が表示されましたら、[F6]キーを押します。  
下記の画面は数秒間だけ表示されますので、この画面が表示されている間に[F6]キーを押します。[F6]キーを押しても、特に画面上の変化はありません。しばらくすると、手順④の画面になります。



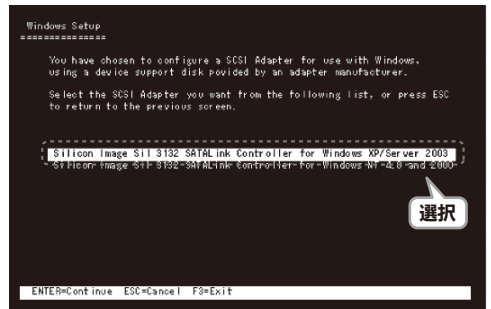
④ しばらくすると、下記の画面が表示されます。  
本製品のドライバーソフトを読み込ませるために、  
[S]キーを押します。(S=Specify Additional Device)



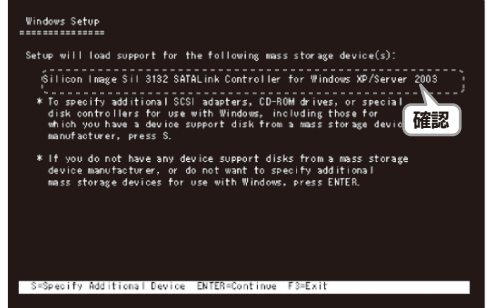
⑤ 下記の画面が表示されますので、サポートソフトをコピーしたフロッピーディスクをセット後、[Enter]キーを押します。



⑥ 以下の画面が表示されます。  
以下を選択して[Enter]キーを押します。  
Silicon Image SII 3132 SATALink Controller for  
Windows XP/Server 2003



⑦ 選択されたドライバーの名称が表示されますので、間違いがないことを確認し、[Enter]キーを押します。



後は画面の指示に従って進めてください。  
以上でインストールは終了です。  
セットしたフロッピーディスクを取り出します。  
OSが正常に起動できることをご確認ください。